

平成28年度 事業計画書

社会福祉法人 落穂会

旭福祉センター・第二旭福祉センター

第二旭福祉センター 施設長 水流 健一

様々な規制緩和策による民間企業等の参入により、福祉の市場において活性化は進んだが、その反動なのか、全国では一握りではあるが虐待や不正などの不祥事に関する報道が絶えず、我々社会福祉法人は今、大変厳しい視線にさらされている。そのような中、国会では社会福祉法人制度改革や課税問題などの議論が架橋を迎えており、今後、私たちは更なる変革を求められていくであろう。今後も国及び社会の動向を注視し、情勢の変化に柔軟に対応すべく、今年度は下記の重点目標を掲げ、更なる資質の向上を図って行きたい。

① 利用者のニーズに合わせた支援の提供

利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ、利用者支援の向上を図る。今年度は生活訓練及び、生活介護事業における支援カリキュラムを見直し、より充実した支援体制を確立させる。

② 家族との連携強化

年3回の家族代表者委員会、毎年8月の家族総会、1月の新年会など、家族との連携を強化する。また、福祉施策の動向について家族への情報提供を行う。

③ 職員の育成システムを確立する

新人の育成システム（育成シート）を完成させる。①倫理・社会面(職員行動チェックリストの運用)について、今年度も確実に実施する。②作業面(作業班別育成シートの完成と実施)育成シートについて、全作業班のシートを完成させる。また、実施状況の確認・見直し作業を行い、効果的な実施が出来るよう作業委員会で直接指導する機会を設ける。

④ 就労支援に関する情報収集・強化

今年度は昨年度に引き続き、就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は特に、就業支援のマニュアル作成とその実施も図る。また、昨年にも引き続き、関連する事業所などを訪問・見学し、将来の体制強化に繋げる。

⑤ 地域密着型の施設サービス推進

地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。特に近隣の地域福祉組織との連携を密に行い、地域福祉の増進に寄与する。また、ベーカリー・カフェ NODOKA という拠点を活かし、地域との交流を深める。

⑥ 各種作業部門 製販計画の達成

各作業班が策定した製販計画の達成を目指す。特に今年度は、昨年スタートした各作業班別の作業育成シートを完成させ、新人職員の作業面における育成カリキュラムの完成を重点目標と定め、確実な計画の達成を目指す。

(各作業班別 重点事項)

※NODOKA

重点目標・・集客率アップ（接客支援・宣伝・広告等）

- ① 人材育成（新人育成シート・接客スキルアップ）
- ② 利用者支援（接客・清掃）
- ③ 宣伝・ブログ作成（行事ごとにベーカリー・楓含め検討・実施）
- ④ 各行事（バザー・夏祭り等）の早期計画・実施

※竹工

重点目標・・人材育成・利用者支援の充実

- ① 人材育成（育成シートの活用・・新人職員）
- ② 支援の充実（事業別の計画的な支援の実施）
- ③ 情報共有と報連相の徹底（職員の意識・スキルの向上）
- ④ 安全な環境整備（バリアフリーに向けての取組）

※蔬菜

重点目標・・人材育成・地域との交流

- ① 人材育成（育成シートの活用）
- ② 利用者支援の充実
- ③ 輪作を考慮した畑作の実施
- ④ 作業を通して地域との交流

※菓子・楓

重点目標・・人材育成（全体のスキルアップ・協力体制の確立・報連相確）
集客率アップ

- ① 人材育成（全体スキルアップ）
- ② 集客率アップ（宣伝・接客・店作り）
- ③ 新商品の開発
- ④ 行事の早期計画と実施

※陶芸

重点目標・・新商品の開発と窯元見学

- ① 商品の開発
- ② 窯元見学
- ③ 利用者支援の充実

※メンテナンス

重点目標・・育成シートを活用した人材育成

- ① 利用者・職員の育成
- ② スキルアップ
- ③ 作業の安定
- ④ 医療関連サービスマークの計画的な実施

※園外実習

重点目標・・実習担当者との連携強化

- ① 情報収集
- ② 利用者支援の充実
- ③ ハローワーク、障害者雇用センターの活用

※味噌

重点目標・・人材育成 伝票管理徹底

- ① 衛生管理
- ② 売上管理
- ③ 害虫駆除の徹底

以 上